

磯崎新 12×5=60

2014年8月31日[日]–
2015年1月12日[祝・月]

[関連企画]

●パフォーマンス「ひらがなをどり」〈受付終了〉

○9月20日(土)19:00より ○出演:田中泯(ダンサー) ○助手:石原淋

○会場:ワタリウム美術館 ○参加費:2,500円(予約制)

クラシック・バレエとモダンダンスを学び1966年より独自の活動を開始する。85年山村へ移り住み農業を礎とした舞踊活動を現在も継続中。97年伝統・民俗芸能に焦点をあてた「舞踊資源研究所」設立。国内外問わず大舞台から野外までの幅広いダンス歴は現在までに3000回を超える。02年より多数の映像作品にも出演している。エッセイ集『僕はずっと裸だった』(工作舎)、田中泯+松岡正剛 著『意身伝心』(春秋社)。★1978年、磯崎新、武満徹プロデュースによるパリ秋芸術祭「〈間〉展 日本の時空間」は、田中泯の海外デビューとなった。



田中泯 Madada Inc. 撮影:Rin Ishihara

●コンサート「笙とヴァイオリンによる細川、バッハ、ケージ磯崎 — 磯崎新へのオマージュ—」

○11月3日(月・文化の日)16:00より+19:00より(2回公演)

○企画・構成:細川俊夫(作曲家) ○出演:庄司紗矢香[ヴァイオリン]、宮田まゆみ[笙]

○会場:ワタリウム美術館 ○参加費:3,500円(予約制)

○細川俊夫:笙のための『光に満ちた息のように』(シュタイナーの黒板絵による)

○バッハ:無伴奏ヴァイオリンパルティータより ○ケージ:笙とヴァイオリンのための"TW04"

世界的なヴァイオリニストと笙奏者が、はじめて出会い、磯崎新とも深い関わりのある細川俊夫、ジョン・ケージの作品を演奏します。ケージの作品は、ケージの晩年に宮田まゆみのために書かれた30分を要する最弱音の笙とヴァイオリンの音の微妙な変化を楽しむ作品です。



細川俊夫と磯崎新

●対談「だから、茶室はやめられない」

○11月7日(金)18:30-20:00 ○出演:藤森照信(建築史家/建築家)+ 磯崎新

○会場:建築家会館 本館 ホール 東京都渋谷区神宮前2-3-16 (ワタリウム美術館より徒歩5分)

*建築家会館へ、直接のお問合せはご遠慮下さい。 ○参加費:2,000円(予約制)

大分の磯崎家の庭には「ポタンの花が一面に咲き、父の茶室が一画にあった」という。琴棋書画そしてポタン、南宋にはじまる文人の領分。(藤森照信)



空飛ぶ泥舟 設計:藤森照信

申込方法:ご参加の方は、申込書(記載事項:希望の回、氏名、人数、連絡先(住所/電話番号/E-mailアドレス又はFax番号))をE-mail:order@watarium.co.jpまたはFax:03-3405-7714へ送信いただき、同時に、下記の口座へ参加費をお振込下さい。申込書や参加費受領確認の返信は特にいたしません。チケットは開催日3日前までにお送りいたします。振込先:三井住友銀行 青山支店(普)1033281(名義)ワタリウム美術館 *なお、お客様のご都合による払い戻しはできません。

●「モンドリアンの茶会」

○毎週水曜日 18:00より(12月31日を除く) ○会場:ワタリウム美術館 2階 モンドリアンの茶室

○参加費:1,500円(抹茶、和菓子付き、予約制) 限定:10名 ○協力:株式会社虎屋

「〈間〉展 日本の時空間」(企画・構成:磯崎新 会場:パリ装飾美術館)で制作された「モンドリアン茶室」がワタリウム美術館に2014年版として登場します。この2畳の茶室にて茶会を行います。時々、関係者の飛び入り参加で面白い話が聞けます。

申込方法:ご参加の方は、申込書(記載事項:希望の水曜日の日付、氏名、人数、連絡先(住所/電話番号/E-mailアドレス又はFax番号))をE-mail:order@watarium.co.jpまたはFax:03-3405-7714へ送信ください。申込書受領確認の返信は特にいたしません。参加費は、当日ワタリウム美術館受付にてお支払いください。



モンドリアン茶室 〈間〉展 日本の時空間
1978年 撮影:篠山紀信

*予定が変更する場合がございますので、ご参加の際は、ワタリウム美術館ホームページ(<http://watarium.co.jp/event/index.html>)にてご確認ください。
*定員になり次第〆切となります。

